

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	303.2	障がい者福祉計画策定事業	会計	01	一般会計
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える	款	03	民生費
			項	01	社会福祉費
			目	04	障害福祉費
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		細目	101	障害者福祉一般事業
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	細々目	01	障害者福祉一般経費
		22-9657			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	障害のある人	障害者福祉計画を策定することにより、障がいのある人が地域で安心して暮らせるための指針づくりとなるとともに、計画的な施設整備や体制作りが行える。			
本年度事業内容	障害者福祉計画策定事業(平成18年度中に策定)				
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	障害者自立支援法等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,939	7,218	600
委託料	400	230	0
報酬費	0	600	300
印刷製本費	0	1,738	0
その他	2,539	4,650	300
合計(A+B)	3,659	7,938	1,320
財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,659	7,938	1,320
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
身体障害者手帳所持者数	人	5,049	5,100	5,120			
療育手帳所持者数	人	570	585	595			
精神障害者保健福祉手帳所持者数	人	124	130	138			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地域福祉推進主体(団体)数	NPO、ボランティア、住民自治組織、一般市民と行政が協働して推進死する体制作りを目指す	団体数	350 目標 (500)	400	400
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉計画は、旧上野市で先駆けて策定し、旧町村で合同で策定を行ったが、合併以後は未策定である。 障がい者福祉計画については平成18年度中の策定が義務づけられており、平成17年度から事前調査等を行うとともに、素案づくりを行った。 障がい者福祉計画については、平成18年度から平成20年度までの3か年計画となっており、平成20年度には見直す必要がある。

評価	必要性	4	障害者福祉計画を策定し、計画的な体制づくりは必要である。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		